

図書館展示計画委員会報告

平成18年度は、春季特別展ならびに関西大学創立120周年記念展示を開催した。また、商学部の主催により、商学部創設100周年記念展示も開催した。何れも総合図書館1階展示室を会場とした。

春季特別展

「大阪の女流文学」

平成18年4月1日(土)～5月21日(日)

歌集『みだれ髪』や長詩「君死にたまふことなかれ」などで知られ、「情熱の歌人」と呼ばれる与謝野晶子。『白い巨塔』『華麗なる一族』『沈まぬ太陽』など、戦後日本社会の現実を鋭く追及した話題作を次々と発表している山崎豊子。大阪ことばを巧妙に駆使し、人生の妙味を描くのを得意とする田辺聖子。

今展示では、大阪に生まれ育った、あるいは大阪にゆかりのある女性の作家、歌人、詩人、俳人にスポットを当て、上記をはじめとした10人の女流文学者の自筆原稿、色紙、短冊、初版本など53点を出品した。



与謝野晶子『みだれ髪』の色紙

商学部創設100周年記念展示

「近世・近代における商（あきない）の諸相と商学部における学（まなび）の礎」

平成18年5月27日(土)～6月24日(土)

金銀出入帳や引札および結界や銭箱など、日本の近世・近代における商業に関する資料や商業学科（本学商学部の前身）創設当初の講義筆記録、『関西大学商学論集』の創刊号など22点を出品した。

関西大学創立120周年記念展示

「大坂画壇の絵画—文人画・戯画から長崎派・写生画へ—」

第1部 木村兼葎堂と大坂の文人画

平成18年10月15日(日)～11月8日(水)

第2部 耳鳥齋と大坂の戯画・風俗画

平成18年11月13日(月)～12月1日(金)

第3部 大坂の長崎派と写生派

平成18年12月3日(日)～12月16日(土)

記念講演会

演題 「大坂画壇の絵画」

講師 中谷 伸生 文学部教授

日時 11月16日(木) 13:00～14:30

会場 図書館ホール（総合図書館3階）

平成18年11月4日は、本学創立120周年記念日にあたり、今回の秋季展示は関西大学創立120周年記念展示として、大坂画壇の絵画を第1部から第3部の三つの期間に分けて出品した。

第1部は、浪華の文人である木村兼葎堂および木村兼葎堂と係わりのあった画家の作品を中心に21点を出品した。第2部では、大坂において、戯画の領域で特異な活動を行った耳鳥齋を中心に、森一鳳や菅橋彦、北野恒富などの作品28点を出品した。

第3部は、中国清代の画家である沈南蘋の影響を受けた長崎派と呼ばれる画家たちの作品を中心に21点を出品した。

記念講演会では、文学部の中谷伸生先生が、これまで正当に評価されてこなかった大坂画壇の絵画の優れた芸術性などについて、スライドを用いて分かりやすく説明され、貴重なお話をうかがうことができた。



耳鳥齋「別世界巻」(部分)